

# 広尾防災公園 現場だより

## 第2号

編集・発行 市川市行徳支所地域整備課広尾防災公園担当室 市川市末広1-1-31 (TEL 359-1287)

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/gyo07/1112000001.html>

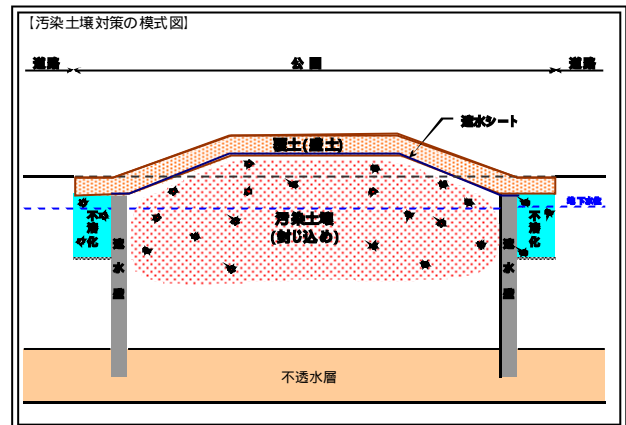
広尾防災公園は、平成22年4月の開園を目指して、近隣の皆様のご協力を得ながら工事を進めています。現場は安全面や環境面に配慮して柵を設けているため、普段はなかなか現場の様子が分からないので、この「現場だより」を通じて工事の進捗情報等について皆様にお伝えします。

(6月25日現在の工事の状況)

### < 土壌汚染対策 >

公園等の計画地（石原製鋼所跡地）においては、フッ素・鉛等による土壌の汚染が確認されていることから、住民の健康被害や環境への悪影響を防止するため、汚染の拡散防止対策を図ることを目的としています。

計画地のほぼ全体の汚染土壌を原位置で封じ込めます。



封じ込めるため、外周部分の地中の壁を造るうえで障害となる旧工場の大きな地下施設や硬いスラグなどを取り除く作業を行います。

写真は大型のブレイカなどで障害物を小さく砕いていきます。

この作業の際には、大きな音と振動でご迷惑をおかけいたしました。

右の写真は遮水壁を造っているところです。

左の機械で深さ約10メートルまで土を掘りながら同時に地盤改良材を混合して壁を造成していき、その後ろから追いかけて右の機械で地盤改良材が固まらない内に特殊ゴム性の遮水シートを広げていきます。これで、計画地の中と外の地下水の行き来がなくなります。地下10メートルまで遮水シートを設置するのは日本ではじめての施工だそうです。





表面にも遮水シートを敷き、汚染土の飛散防止や封じ込め内への雨水の浸入を防ぎます。

写真の黒いシートが遮水シート、これを白い保護マットでサンドします。

この上に平均で1メートルの盛土を行い、公園の地盤を造っていきます。

6月25日現在の現場の状況です。ここは、『健康の広場』になるところです。



### < 雨水貯留槽・防火水槽 >

雨水貯留槽のA（マンション側V=2,475<sup>m</sup>）B（工場側V=1,958<sup>m</sup>）2基と、防火水槽（40<sup>m</sup>）2基が完成し、使える状態になっております。

写真は、雨水貯留槽Aの検査時の写真です。お蔭様で無事に完成しました。工事中、皆様には大変ご迷惑おかけいたしました。



### < 工 程 >

今後のスケジュール（予定）です。今までは地面の下の工事でしたが、これからは、いよいよ公園として表面の整備に着手していきます。残りの工事でも事故のないように進めてまいります。

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
実施設計		土木・造園 建築			
土壌汚染対策工事 (土地開発公社発注工事)					
雨水貯留槽等整備工事					
耐震性飲料用貯水槽整備工事					
土木工事					
造園工事					
建築工事					

4月開園予定